



CANVAS STEREO

あなたはアーティスト、あなたのサウンドが絵の具ならこれはキャンパスです。
Canvas Stereo ダイレクト・ボックス/ライン・アイソレーターはレコーディングからライブ
まで、いつでもあなたに役立つサウンドパレットになります。

DI (ダイレクト・インジェクション) - エレクトリックギター/ベース等のアンバランス、ハイ・インピーダンスソース接続時にはDIモードを選択してください。シグナルは-20dB (パッドオン時は-35dB) 低減され、バランス・シグナルに変換後XLRアウトプットから出力されます。ミキサーまたはプリアンプのゲインを使用して、シグナルをラインレベルに調整してください。

LI (ライン・アイソレーター) - Walrus Audio ACS1のようなアンプ+キャビネットシミュレーター、キーボード等のアンバランス、ロー・インピーダンスソース接続時にはLIモードを選択してください。シグナルボリュームをそのまま保持しつつバランス・シグナルに変換後、XLRアウトプットから出力されます。LIモード選択時にはプリアンプのゲインは抑え目にしてください。

注: DIまたはLIモードの選択にあたっては使用機材の出力インピーダンスを確認してください。以下は一般的なガイドです。

ハイ・インピーダンス=1kΩ以上=DIモードを選択

ロー・インピーダンス=1kΩ未満=LIモードを選択

LIモード選択時に高域がこもっている場合には、DIモードが適切である可能性があります。

PAD - DIモード時に-15dBパッドをオンにして、シグナルの歪みを防ぎます。

GND LIFT - アース・ループ等によりハムやノイズが出た場合に、このグランド・リフトをオンにしてください。通常はオフにしてください。

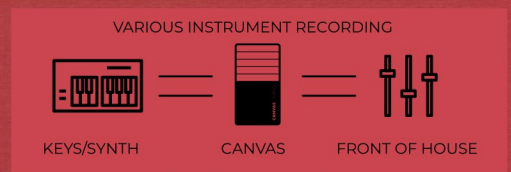
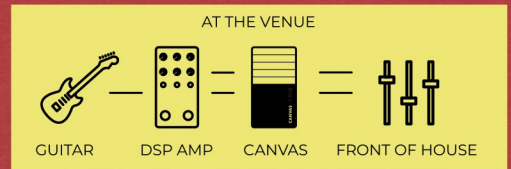
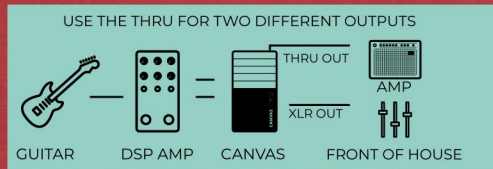
SUM - オフ時には左インプットは左スルー、右インプットは右スルージャックへ接続されており、ステレオアンプの使用が可能です。オン時には左右スルージャックをサミングして一台のアンプへ接続できます。その際は左右どちらかのスルージャックを使用ください。

THRU - スルージャックからギターアンプや他のソースへ接続します。

WHEN TO USE THE CANVAS

Canvas Stereoを使用して、楽器をさまざまなソースに接続します。次の図は、いくつかの使用例です。

ヒント: 左右のジャックは独立しており、2つのモノラルソースを実行することもできます。



キトリ線

●安全にご使用いただくために

この度はWALRUS AUDIO製品をお買い上げいただきありがとうございます。

・使用開始前に、安全ため下記の説明を良くお読みください。 ・お読みになった後は、必ず保存しておいて下さい。 ・ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、下記の指示を必ず守ってください。

⚠ 警告: 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

⚠ 注意: 人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

⚠ 警告

1. 火災または感電の危険を避けるため分解したり修理、改造は行わないでください。 2. 火災または感電の危険を避けるため本機器を雨や湿気にさらさないでください。

⚠ 注意

1. この取扱説明書をよくお読みください。
2. この取扱説明書で説明されている範囲を超えた保守点検作業を行わないでください。
3. 本機器を暖房器具や電熱器などの熱を発生する機器の近くに置かないでください。
4. 本機器に異物や液体が入らないようにしてください。
5. 本機器の清掃には、金属部分の先端部などだけがをしないよう注意して、乾いた布のみを使用してください。
6. 火器の近くを避け、安定した場所に保管してください。天災による事故、火災の原因となったり、地震の際に落下してけがの原因になることがあります。
7. 発火や感電の危険を避けるため本機器を濡れた手で、水の近くで使用しないでください。